

金剛寶戒寺便

<https://www.houkaiji.jp>

令和六年二月一日発行 第一一九号

檀信徒の皆様、こんにちは。元日に大変な震災がありました。能登半島地震で被災されました方々にお見舞い申し上げます。

当山では一月八日の講習会を「初笑い」として、Wエンジンえとう窓口さんにお越しいただき、お話をして頂くことにしていました。震災を受けて自粛も考えたのですが、えとうさんとも相談の上、被災地へのチャリティー講演会と致し、開催させて頂きました。

演題は「ご縁に生かされて」でした。今、地球の人口は約78億人ですが、この全ての人々と1秒ずつ会って挨拶をしたらどの位の時間が掛かるか知っていますか？そんな質問からお話は始まりました。答えは200年以上掛かるそうです。そんな中で、今日出会えたご縁、親子兄弟、夫婦、お友達のご縁はまさに奇跡です。えとうさんもこれまでの人生、芸能活動で多くのご縁に助けられてきたと言われていました。これまでの人生50年を振り返ると多くの人達とご縁を結んで今の自分があるけれど、敢えて三人のお名前を出すのであれば、Wエンジンの相方、チャンカワイさん、TV「タビ好き」でのメインパーソナリティーを務められている前川清さん、そしてリフォーム番組、リフォームアプターでお世話になった匠の柴田さんだそうです。ど

の方もテレビで観たことがあるかと思えます。また匠の柴田さんからは三度のリフォームをお願いただけでなく、奥様をご紹介くださり、子供さん達とも出会うことが出来、人生のリフォームまでしてもらったと笑いを取っていました。

高校卒業後、江藤君とお会いしたのは10年くらい前のロケ番組でした。月日が経つのは本当に早いですが、講習会当日は同級生も数名参加くださり、高校時代のことなども懐かしく振り返り、楽しいひと時となりました。この「ご縁」のお話に共感くださった方々からは多くの義援金をお預かり致しました。同じ日本人として少しでも何か力になりたいとの気持ちがあふれていました。

2月3日は節分です。気が付けば日が暮れるのも遅くなってきました。星祭のお札を出します。その日だけ祈念するのでは物足りないのです、このお便りを書いている1月中旬から拝み始めています。今年が厄年や黒星だからと言って行動を控えるのは余り好きではありません。もしも心配であれば星祭のお札をお申し込みください。檀家様もそうでない方もご本尊様との良い「ご縁」を深める厄除けになると思います。

◎男性の本厄（年齢は数え年）

本厄の前後が前厄、後厄になります
平成十二年生まれ 二十五才
昭和五十八年生まれ 四十二才

昭和三十九年生まれ 六十一才
◎女性の本厄（年齢は数え年）

平成十八年生まれ 十九才
平成四年生まれ 三十三才
昭和六十三年生まれ 三十七才

四年ぶりに巡廻布教を行う予定です。布教師の斎藤先生は以前にも一度、当山で「足湯ボランティア」のお話をして下さったことがあります。自坊が富山なので今回の能登半島地震でも揺れを感じた事と思います。日にちが月例の八日ではなく、9日になりますのでお間違いないようお願い致します。

巡廻布教 斎藤智弘 僧正
日時 三月九日(土) 十四時から
場所 金剛宝戒寺 本堂に於いて
演題 「お大師様と共に」

法要会館並びに庫裏の建設も順調に進んでいます。境内に面する北側は本堂の威厳を崩さないように屋根の勾配を取っています。一定額以上のご寄付を頂いた方は、お約束通り石柱を建立いたします。漢字の間違いなど無いかそろそろ確認をさせて頂きたく思っています。

～編集後記～ 厳しい芸能界で頑張っている江藤君だからこそ「ご縁」の大切さを実感しているのが伝わってくるお話を頂きました。そして私も負けずに今年一年エンジン全開で頑張ろうと思った年初めでした。